



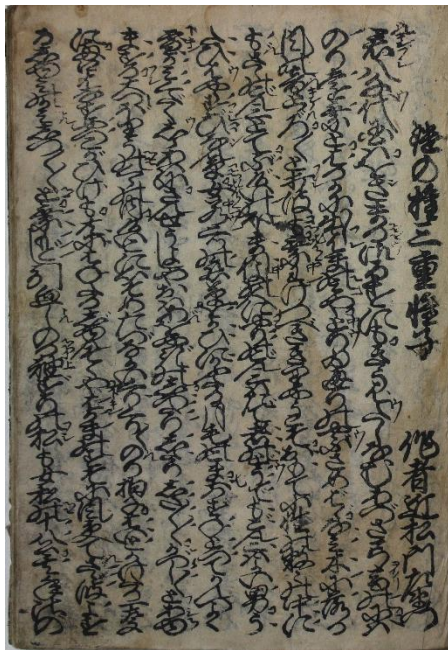
日本文学の中に現代につながるテーマを見いだす

法文学部言語文化学科日本文学研究室 山根直子・野本瑠美・田中則雄

平安時代から近代までの物語・軍記・演劇・小説などの文学作品を、資料に基づいて分析し読解していくと、そこに、戦乱と平和・ジェンダー・食糧などに関わる、現代とそのまま通じるテーマが記されていることに気づきます。

私たちは、実証的な研究を通して、文学作品からこのような問題を抽出し、論文のほか、講義や講演などで発信しています。

過去に作られた文学作品は、今日において決して古びてはいないということを、多くの人と共有したいと考えています。



近松門左衛門作『鑓の権三重帷子（やりのごんざかさねかたびら）』
1717年初演。島根大学法文学部蔵
夫婦、家族、職業などの問題に関わる、人の心情や生活を描き出している。